

第1回 倉吉市地域産業振興戦略会議 議事録

【開催日時】平成21年11月30日（月）15時から16時30分まで

【開催場所】倉吉市役所本庁舎3階 大会議室

【出席者】長谷川市長、小椋委員、奥村委員、岩本委員、山本委員、竹歳委員、
能登委員、今井委員、山下委員、安藤委員、森和美委員、黒川委員

【欠席者】坂根委員、小野委員、藤本委員

【事務局】徳田産業部長

〈商工観光課〉森石課長、谷田課長補佐、宮脇係長、竹田主任、戸田主任

〈農林課〉長柄課長

【議事の内容】

- ・「倉吉市くらしよし産業元気条例」の内容と地域産業振興ビジョンの策定の目的について事務局より説明を行い、委員から産業振興に向けた意見を聴く。

【主な意見】

- ・産業の振興のためには企業誘致活動も大事であるが、誘致した企業や既存企業のニーズをしっかりと把握し、地場産業も含めて、地域全体が活性化するための施策を考える必要がある。
- ・ビジョンを策定する前に「倉吉市くらしよし産業元気条例」と「倉吉市農林業振興・食に関する条例」との関連性を明確にしておく必要がある。
- ・新しい産業化、事業化を目指す「新産業共通基盤」に対する支援策をお願いしたい、
- ・会議では本音で議論することが必要。（マスコミがいると本音の議論ができない。）
- ・産業振興の取り組みの中に「市民の生きがい」も盛り込むべきである。
- ・実現困難な企業誘致よりも、地場産業の支援に力を入れてはどうか。
- ・農産物の販路拡大において、販路の開拓だけでは販売に繋がりにくい。物流のことも含めて考えていく必要がある。
- ・市の産業振興に係る現状の施策の課題や問題点を明らかにしてから議論するべきである。
- ・協議する範囲が広すぎる。的を絞った形で、協議するべきである。
- ・地域消費に結びつくような観光の振興に向けた取り組みを行う必要がある。
- ・市内に遊休地があるのは、農業で生計を立てられない方が多いため。農業の担い手を育成するためには、農業で生計を立てられる体制づくりが必要である。